

秋季東北地区高校野球大会 秋田であす開幕

県勢3校の県大会チーム成績

高校	試合数	打数	安打	打率	長打			得点	打点	四死球	犠打	盗塁	三振	失策	失点
					本	三	二								
八学光星	4	111	50	.450	3	2	12	41	39	24	8	8	11	1	7
弘前東	4	127	41	.323	1	2	6	30	28	19	7	10	22	3	12
青森山田	4	95	37	.389	1	0	11	34	30	28	13	11	11	6	24



光星

センバツ出場目指し

光星(第1代表) 弘前東(第2代表) 青森山田(第3代表)

第1回秋季東北地区高校野球大会は12日、秋田市のこまちスタジアム、さきかけ八橋球場で開幕する。各県の予選を勝ち抜いた精鋭18校が、センバツ出場を懸けて激突する。青森県第3代表の青森山田は12日、第1代表の八学光星と第2代表の弘前東は13日

に初戦を迎える。光星は、県大会決勝以外の全試合を全てワールドで優勝。チーム打率は4割越えと、強力打線を印象付けた。決勝でサヨナラ打を放った澤波大和をはじめ、勝負強い打撃に期待がかかる。投げては後藤丈海、山田恰卓らの継投

で勝利を引き寄せたい。武岡龍世主将は「目の前の一戦一戦に挑戦者の気持ちで臨みたい」と闘志を燃やす。弘前東は手堅い打撃と機動力を生かして勝ち上がった。県大会で先頭打者を務めた主将須藤颯生の打力と後尾に期待。昨秋からエースナンバー

を背負う澤田吉伸の力投も光る。青森山田はどこからでも打てる切れ目ない打撃が持ち味。県大会では6失策と守備に課題を残したが、堀田賢慎ら経験豊富な投手陣を中心に流れを引き寄せたい。初日の12日は、午前9時か

あすの試合

- こまちスタジアム
- ▽1回戦 大崎中央―青森山田(10・30)
- ▽2回戦 盛岡大付―山形城北(13・00)
- 【さきかけ八橋球場】
- ▽1回戦 専大北上―秋田商(11・00)
- ▽2回戦 日大東北―酒田南(13・30)

らこまちスタジアムで開会式を行った後、さきかけ八橋球場を加えたり球場で1、2回戦計4試合を実施。準決勝は16日、決勝は17日に行つ。(里村静)